

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月18日(14:30～15:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	1人	0人	13人

前回の改善計画
利用者様だけでなく、家族・介護者が求めていることや不安に思っていることを職員全員が共有し、適切なサービス提供ができるように職員会議や朝礼などの場を通じて、随時方向性を確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
現場の職員が個別サービス計画書を確認し、求められていることについて理解し考えることが出来た。新規利用の前に時間を作ってカンファレンスが出来ず、朝礼で周知するに止まったケースもあった。利用者様の変化について朝礼を活用し、サービス提供の方法を話し合い支援につなげることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	新規の利用者様には早く慣れて頂けるように積極的に声をかけている。また、困っている事やわからない事などが無いのか具体的に聞いている。 特に、食事面については味・形態・時間に不都合はないか配慮している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	介護職員が家族と会うのは面会時に挨拶をかわす程度なので不安を受け止めるまでには至っていない。 利用者様の対応について朝礼で話し合ったことが、その場にいなかった職員に伝達されず情報が共有されなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者様だけでなく、家族・介護者が求めていることや不安に思っていることを職員全員が理解し、それに応じたサービス提供ができるように職員会議や朝礼などの場を通じて、随時方向性を確認し、休日などで不在だった職員にも情報が行き渡り漏れがないようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月18日(14:30～15:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画	サービス計画書を閲覧できるようにし、職員が利用者様の目標やしたいことを把握できるようにする。かかわった内容を職員間で共有できるように、他事業所のシートも参考にしながら様式を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス計画書を職員全員が閲覧できるようにしたことで、あらためて職員が利用者様の目標を意識することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	6	5	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	5	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	5	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	6	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること うまくいかなかった支援(例:声掛けの仕方)についても共有し、改善方法を話し合い実践につなげることが出来た。その結果についてもフィードバックをあげ情報共有と意見交換を繰り返しサービスの質の向上に努めた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々のかかわりの中、ルーティーンワークをこなすこと、日常的なサービス提供をすることで精一杯という状況下であり、利用者様の目標を個別に意識した上で、それ相応な対応は出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の目標を日々のかかわりから意識し、実践した内容から良かった例・失敗した例をあげながら定例のミーティング(朝礼・職員会議)で発言し、振り返り意見交換をしながら次の対応に活かしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月18日 (14:30 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画
利用者様との会話で気付いた事や反応を言語化し、その日中に職員間で共有し記録に残せるようルーティンワークの時間配分を見直す。
また、いろいろな疾患の初期症状や見極めのポイントなど、医療面の勉強会・研修会を行い介護職員の観察力のスキルアップを図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
毎日行っている朝礼に加えて、時々ではあるが夕礼または緊急ミーティングを開き利用者様の变化について迅速に情報共有することが出来た。
医療面の勉強会・研修会は出来なかったので引き続きの課題とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	8	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	3	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	8	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	1	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の状態に変化が見受けられた際に、その都度話し合いを行い、状態に合わせたサービス提供が出来た。
利用者様の状況や受診日程などに合わせて、入浴スケジュールを本人とも相談した上で変えるなど配慮を怠ることなくできた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方に対する理解が相応に出来ていない。
利用者様の状態に変化があり即時的に取った対応が、連絡ノートへの記入漏れなどから全職員に共有できなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
目に見える利用者様の状態の変化は勿論であるが、声にならない声も掬い上げ、ミーティングを通じ職員誰もが発言し、誰もが意見を出し合い方向性を決め、その成果に対しても評価を話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月 21日 (14:30 ~ 15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	7人	2人	13人

前回の改善計画	利用者様が地域の一員と感じられるように、これまでの地域との関係を理解した上で活用できる資源の情報収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	新しい地域資源の活用として令和6年5月から「移動スーパー」を導入し、毎週月曜日に当事業所へ来ていただき買い物を楽しんでもらい好評を得ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	0	6	7	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	5	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	7	4	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	4	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 少ないながらも地域の行事や催し物への参加が出来た。 毎月、写真付きの近況報告書を家族宛てに送り、利用者様の様子や変化を伝えている。 帰宅された利用者様には家で過ごされた様子をコミュニケーションの中でお聞きしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 基本的な日常生活の支援に止まり、地域との関係をつなげるにまで至っていない。 有料老人ホーム入居の利用者様に地域との関係が切れないようにするのが難しく出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 特に新規利用の際にはこれまでの生活スタイル、人間関係も含めてカンファレンスを行い、現在の利用者様についてもあらためてアセスメントシートを読み返し理解を深める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 2月21日 (14:30 ~15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	6人	3人	13人

前回の改善計画	介護記録の研修を行い、変化が読み取れる記録が書けるよう学習し、様態から言語化へのポイントをつかむ。
前回の改善計画に対する取組み結果	介護記録の研修は出来なかったが、記録を書く時間配分を改革したり各職員が工夫して書いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	4	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	1	2	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	10	2	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	11	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の時間ごとの変化や様子について日勤（遅番）から夜勤、夜勤から日勤（早番）への申し送りと連絡ノートの活用によって連携できている。 また、朝礼を通じ夜間の変化を日勤職員に伝達できている。 夜間であっても急な変化への対応、必要と判断した場合には救外受診・救急搬送につなげている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 活用できている地域資源もあるが情報収集力が足らず、まだまだ数が少ない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者様からのニーズを考慮しながら、これまで出来ていなかった情報収集を行い、地域の資源を活用しながら求められる支援につなげる
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月21日 (14:30 ~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	7人	6人	13人

前回の改善計画	地域との連携が出来る情報収集は引き続き行い、高齢者だけでなく職員のみでも参加できるもの（地域の掃除など）を探し計画する
前回の改善計画に対する取組み結果	恒例に行われている地域の掃除やお祭りに一部の職員ではあるが参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	4	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	3	10	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	3	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3	3	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 福祉用具事業所に参加していただき担当者会議を行った。 地域のイベントにおいて利用者様手作り作品の展示物の提供で参加が出来た。 地元中学校の職場体験を受け入れ、地元の中学生と利用者様の交流ができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域のイベントにおいて作品は提供出来たが、職員不足で会場に利用者様をお連れすることは出来なかった。 関係性を構築していない為、登録者以外の地域住民が来所されることはなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域の住民に事業所を訪れて頂けるような機会を考えて実行する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月28日 (14:30 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	5人	13人

前回の改善計画	介護職として利用者様への支援法だけでなく、事業所全体の運営方法についてより良い方向へ向かえるように、考えて提案できる発言力を高める
前回の改善計画に対する取組み結果	朝礼の終わりには必ず全員に「何かないか?」と毎日全員に問いかけるようにし、それまでは発言の少なかつた職員からも意見が出るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	4	2	5	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	1	3	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	2	6	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	3	8	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様からの意見や苦情があった場合、まず管理者に報告があり即座に判断できる事柄であれば指示伝達をし、その範囲になればミーティングを行い対応している。 全体の中では言いにくい意見も個別に意見の擲り上げが出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること そのための取組みが不十分で地域の拠点にはなっていない。 地域の方からの意見を聞ける場が運営推進会議のみになっており、そのほかの意見が聞ける環境に整備されていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 運営推進会議などを活用して情報収集し、地域と協働して出来る取組みを探し、段階をもって行動に移していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月28日 (14:30 ~ 15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	5人	1人	12人

前回の改善計画
ヒヤリハット及び事故報告後の対応について、リスクマネジメントを含めた現行改善策を話し合うミーティングの時間を設け、起こった事案に対して深掘りし方向性を決めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハット及び事故報告書があがった際、その時の状況を確認しながら「今後の対応」について意見を出し合い、話し合いの中で方向性を決めていった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	3	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	4	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	3	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	受講したい研修内容を職員からアンケートをとり、要望の高いものから選び講師を招いて研修を行うことが出来た。 そのアンケートとは別に、事業所運営に必要な研修も開催できた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	新たな資格取得者はいなかった。 出席出来る地域連絡会(又は相当する会合)についての情報収集が出来ていなく未参加で終わっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	リスクマネジメントについて研修計画に盛り込みその考え方や取り組み方を学ぶ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月 28日 (14:30 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	2人	12人

前回の改善計画	行動抑制にならない声掛けや対応方法を学び、拘束や虐待にならない支援を継続して学んでいく。成年後見制度は使用者がいないが、知っておく必要はあるので、研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	令和6年7月虐待事案が発生、行政からの指導を受けるに至り、虐待防止の研修及び事例検討会を開催した。 成年後見制度については1名の研修受講が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	6	0	0	13
②	虐待は行われていない	6	5	1	1	13
③	プライバシーが守られている	7	6	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	2	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 虐待防止の研修を受け、あらためて利用者様への声掛けを見直し、使わない方がいい用語への意識も徹底し実践できた。 職員が独断で判断することがないよう、その都度話し合いをし、行動制限等にならないよう対応できた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 居室のカーテンを閉めずにパット交換やポータブルトイレでの排泄介助をしている時がある。 「ちょっと待って下さい」=スピーチロックとわかっていてもとっさに言ってしまう。 グレーゾーンと感ずる対応もあり、話し合いを行ったが最終的な結論まで導き出せないケースもあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 虐待防止の研修は引き続き開催し理解を深めていく。その中で特に身近な声掛けの仕方や、図らずとも待たせてしまう場面での対応について学んでいく。
---------------	---

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 アミーゴ島根	代表者	百合澤 正志	法人・事業所の特徴	運営理念である「ゆったりと利用者様に寄り添い さりげない心遣いで 笑いにつなげよう」を常に心に置きながら、利用者様が安心して過ごせるよう努めている。また、温泉を利用し、ゆっくりと入浴して頂くことができる。
事業所名	大東ゆりさわ	管理者	三木 将徳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の具体性を高め、課題を職員間で共有し、研修や勉強会を行いスキルアップに努めていく。	職員一人一人が学びたいテーマを掲げ、それに即した研修を行い当日欠席だった職員に対しては伝達する担当を設けもれなく伝えることが出来た。	職員全員が共有できるように朝礼を活用したり緊急ミーティングや計画書の全員閲覧で共有できるようにしていた	スタッフ個別評価の内容をかみ砕き、実際の業務で意識しなければいけない部分への関心度を上げスキルアップへつなげる
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、推進会議に事業所見学を取り入れる機会を設ける また、面会者以外の方も自由に見学できるような機会を計画する。	面会については以前に比べ緩和している。利用者様の状態によっては居室で面会していただくこともある。見学者はなかった。	将来的に利用してもらえるよう見学会などの機会を設けて希望を募ったり案内をしてはどうか。	地元機関の協力を仰ぎ、当事業所の存在を地域にアピールし将来展望の中に加えてもらえるように周知活動を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域活動の情報を得るための情報網を広げる。 また、推進会議で得た地域の情報をアウトプットする	前年度に比べて地域行事参加の機会が少なかった。感染症の影響、突発的な職員不足による影響は否めない。	自転車通勤している職員を見かけると挨拶する。 顔見知りの職員と会えば立ち話もする。	市報や近隣施設から発信されている情報を収集し、より多く地域とのかかわりが持てるように取り組む
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の特色や伝統が守られている様子を見て頂き、自らもその地域の一員であるという事を感じていただく	直接的な行事参加ができず間接的な参加に留まった。 事業所内での活動が多く、外出自体が少なかった。	利用者様がかつてどんな活動をされていたのか聞くのも一考。散歩がてら田植えの見学もよいのでは。	利用者様の生活歴も鑑み、事業所だけの生活にならないよう地域に出向いていけるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き、利用者や介護職員も運営推進会議に参加できるようにし、地域と関わりあうという意識を全職員が持つ。	利用者様、介護職員の参加はできなかつた。	利用者、職員が一緒になって草取りなどをされてはどうか	地域と関わりあうという意識を全職員が持ち、会議で得た情報を共有し活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地元の組織と協同して防災・災害対策が連携できるように計画を立てる	地域との連携した訓練は出来ていない。引き続き努力が必要。	消防団と連携して何かされてもよいのでは。	防災・災害対策が連携できる地域の組織を調べ、共同してできる計画を立てる。

